

球技大会

先週は天候が不安定で、晴れていると思ったら急に土砂降りになったりの繰り返し。そのため、7月15日に行われる予定だった球技大会が順延となりました。天気が回復したと思われたのですが、未明からの雨でグラウンド状態は悪化。このままでは今年の球技大会は中止かと思われました。しかし、グラウンドの水はけの良さで16日は球技大会を実施することができました。

準備運動を終え、体育館ではバレーボール（男子）、グラウンドではサッカー（男女）が行われました。

各競技で熱戦が繰り広げられ、生徒は顔を真っ赤にしながら競技や応援をしていました。各クラスが一つにまとまっていく様子が見られました。球技大会の結果は以下の通りです。蒸し暑い中、本当にお疲れさまでした。次の球技大会でも熱戦が繰り広げられることを期待します。



開会式



準備運動



男子サッカーの様子



男子バレーボールの様子



グラウンドの様子

球技大会の結果

男子バレーボールの部
優勝 3年4組A
準優勝 3年3組
第3位 3年1組

男子サッカーの部
優勝 3年1組
準優勝 3年3組
第3位 3年2組

女子サッカーの部
優勝 3年2組A
準優勝 2年2組B
第3位 3年4組B

おめでとうございます！

ありがとう、アレックス先生！

昨年、コロナ感染が拡大したため、三木北高校にALT (Assistant Language Teacher) がいなくなりました。前校長の吉田先生が小野在住のアレックスさんに「三木北高校のALTとして来てもらえないだろうか」とお声がけしたところ快く引き受けていただきました。

1月からALTとして三木北高校の英語教育に尽力していただきました。本当にありがとうございました。アレックス先生の今後のご活躍と感謝の気持ちを込めて花束が贈呈されました。



生徒会執行部認証式

生徒会の新執行部の認証式が行われました。

安保生徒会長を中心に三木北高校をよりよくするために頑張ってください。

生徒会長	安保 瑠音さん (2-4)
生徒副会長	岡部 聖志さん (2-2)
生徒副会長	久保愛優美さん (2-2)
書記	酒井 友華さん (2-4)
書記	山岸のどかさん (1-1)
書記 (放送)	土生田瑚志さん (1-1)
会計	田中 碧海さん (2-4)
会計 (副)	上垣 大樹さん (1-3)
文化委員長	林 柚妃さん (2-4)
文化委員長 (副)	本房 有沙さん (1-2)
体育委員長	宮下ひなのさん (2-1)
体育委員長 (副)	竹内 奎基さん (1-2)
保健委員長	谷口 開 さん (2-4)
保健委員長 (副)	阪野 実愛さん (1-3)
図書委員長	藤岡 悠仁さん (1-1)
図書委員長 (副)	井上 結仁さん (1-1)
風紀委員長	甲斐くれあさん (2-4)
風紀委員長 (副)	武野 遥音さん (1-1)
環境委員長	川本 元斗さん (2-2)
環境委員長 (副)	安保 磨蓮さん (1-4)

終業式校長式辞

いよいよ、1学期も今日で終わります。

1学期は、コロナ感染症拡大防止のために緊急事態宣言が出され、皆さんの学校生活に様々な規制をかけざるを得なくなりました。非常に悔しくて残念でした。そのような中、しっかり学校生活をやり遂げてくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

明日からの夏休みに向けて、これから2つの話をします。よく聞いてください。1つ目は時間を有効に活用してほしいということです。夏休みは、全員平等に40日あります。そして1日24時間も誰にも平等にあります。その時間の使い方は人それぞれだということです。そして、時間は過ぎる一方で戻せません。

ここで、時間の有効活用のための策を、これも2つお伝えします。1つめは、計画を立てることです。単純に時間のロス、時間の使い方のミスを防ぐには計画を立てることが絶対です。計画をしっかり立てると意欲も湧いてくるという効果も期待できます。2つめは計画通りに40日を過ごした後の自分がどうなっているか、想像して、目標を持って「こんなふうになりたい」「あんな自分に変わりたい」としっかりイメージすることです。目標がなければ、勉強も部活もただやらされているという苦痛な時間となってしまいます。40日後の自分をイメージして、しっかり計画を立てたら、あとは自分に厳しく実行するのみです。1年生諸君は遅れを取り戻すチャンスです。2年生諸君は自分の可能性をいろいろ試すチャンスです。特に3年生諸君の夏休みは人生を決定する重大なポイントです。計画的な夏休みを過ごしてください。

2つ目はいつも言っているコロナ対策のことですが、感染しないためには「空気を読む」ことが大切です。新型コロナウイルス感染症の話が出て2年近くなります。その中で、わかってきたことがたくさんあると思います。一番大きな事実、コロナの感染のほとんどは飛沫感染だということです。感染者が触れた場所や物から感染するわけではなく、感染者がマスクをせずに大声でしゃべったり、咳、くしゃみで巻き散らした飛沫に含まれるウイルスを、マスクをしないで何度も何度も長時間吸い込むことによって感染します。

電車、バス、飛行機など公共交通機関で集団感染、つまりクラスターが発生していない。この事実をどう受け止めれば良いのでしょうか。電車、バスなどは、必ずマスクをしますよね？そして、コロナ禍の今は本当に静かにマナー良くしていなければなりません。さらに、換気が十分できています。このことから考えると、マスクの効果は絶大でマスクをきっちりして、密であっても換気をしっかりしていれば感染を防げるということです。ということは、感染はどのようなときにどうして起こっているのか……。

感染の多くは、マスクしないで飛沫に含まれるウイルスを吸い込む恐れのある食事時に起こるのです。換気のない狭い空間でマスクを外して談笑しながら食事をとることは危険です。

しっかり「空気を読む」ことが大切です。密な状態でのマスクの着用は絶対であるとか、マスクを外して話をしないとか、学校においては、部室で密な状態で更衣しないとか、部室で談笑しないとか、食事を取らないとか、逆に、ひとりで登下校しているときにマスクを外して熱中症にならないようにするとか。場の空気を読み、コロナウイルスが浮遊しているかもしれないという気持ちで空気を読むことが大切です。

私も空気を読んで、コロナ禍での長話は避けたいと思います。

40日後に元気な皆さんに会えることを願って、夏休みも黙食と独食をおすすめします。

光陰矢の如し

今年初めて担任を持った先生は、「バタバタしている中で、あっという間に1学期が終わりました。去年と比べて授業の準備だけでなく色んなことに追われて大変でしたが楽しい1学期でした。」と話されていました。また、もう一人の先生は、「去年と違って行事での達成感があり楽しかった。授業の準備は大変でしたが、自分のクラスがあるのは新鮮であっという間の1学期でした。」と話されました。

皆さんはどうでしたか。1学期はあっという間でしたか。充実した毎日過ごした人にとっては、あっという間だったかもしれません。もっと時間が欲しいと思った人もいないかもしれません。振り返ると時間はあっという間です。与えられた場所で自分の力を思いっきり発揮しようとする人はきっと充実した毎日過ごすことができたでしょう。逆に、気持ちが後ろ向きになっている人は、満足のいく毎日過ごすことが難しかったでしょう。

平等に与えられた24時間をどう使うのかで、高校生活は変わります。長期休業中で、気持ちを切り替えて前向きに取り組んでください。3年生は進路に向かって、1・2年生は2学期に向かって充実した夏休み（課題や部活、ボランティア活動など）を過ごしてください。

振り返って「あの時、こうしておけばよかった」と思わないように。



リモートでの全校集会の様子

